

## 研究協力をお願い

昭和大学校江東豊洲病院では、下記の臨床研究（学術研究）を行います。研究目的や研究方法は以下の通りです。この掲示などによるお知らせの後、臨床情報の研究使用を許可しない旨のご連絡がない場合においては、ご同意をいただいたものとして実施されます。皆様方におかれましては研究の趣旨をご理解いただき、本研究へのご協力を賜りますようお願い申し上げます。

この研究への参加を希望されない場合、また、研究に関するご質問は問い合わせ先へ電話等にてご連絡ください。

質の高い薬物治療を目指した病棟薬剤師間の相互監査の実態と薬物治療に与える影響
<b>1．研究の対象および研究対象期間</b> 2023年1月から2023年12月までに昭和大学江東豊洲病院に入院され、薬剤師が薬物治療に携わった患者さん
<b>2．研究目的・方法</b> <目的> 当院の薬剤部では、複数名の薬剤師がローテーションで病棟担当薬剤師として薬物治療を行っています。薬剤師が行う薬物治療は、薬剤師の知識と経験によらずに、どの薬剤師でも同じように、その質が確保されるべきだと考えています。そのため薬剤師は、薬物治療の有効性と安全性を確保する目的で、個々の患者さんの治療の状況を複数の薬剤師と共に毎日評価（相互監査：audit）しています。そこで、当院薬剤師の相互監査の実態を調査することにより、薬剤師が相互監査を行うことで患者さんの薬物治療に与える影響について評価し、今後の薬物治療に役立てることを目的としています。 <方法> 薬剤師が記録している相互監査記録表から、相互監査の内容（相互監査の件数、相互監査実施者の薬剤師経験年数、助言内容）を集計します。また、当院に入院している患者診療録の中から、相互監査を実施した入院患者さんのデータを用いて、薬物治療に与える影響について評価します。過去の診療録を調査しますので、特にこの研究が治療に直接的な影響は及ぼすことはありません。
<b>3．研究期間</b> 昭和大学における人を対象とする研究等に関する倫理委員会審査後、委員会から発行される「審査結果通知書の承認日」より、研究実施機関の長の研究実施許可を得てから2025年12月31日まで
<b>4．研究に用いる試料・情報の種類</b> 患者背景（年齢、性別、診断病名、診療科、既往歴、現病歴、薬歴・併用薬）、臨床検査項目（血液、生化学）、臨床症状（効果、副作用、意識障害、その他の症状の有無）
<b>5．外部への試料・情報の提供</b> 該当いたしません。
<b>6．研究組織</b> 研究責任者 昭和大学薬学部 病院薬剤学講座 柏原 由佳

**7. お問い合わせ先**

本研究に関するご質問等がありましたら下記の連絡先までお問い合わせください。ご希望があれば、他の研究対象者の個人情報及び知的財産の保護に支障がない範囲内で、研究計画書及び関連資料を閲覧することが出来ますのでお申出ください。また、試料・情報が当該研究に用いられることについて患者さんもしくは患者さんの代理人の方にご了承いただけない場合には研究対象者としませんので、下記の連絡先までお申出ください。その場合でも患者さんに不利益が生じることはありません。

照会先および研究への利用を拒否する場合の連絡先：

所属：昭和大学江東豊洲病院

氏名：柏原 由佳

住所：江東区豊洲 5-1-38

電話番号：03-6204-6389